

**作成コンセプト①**  
 木の町「旭川」には、多くの家具メーカーがあります。家具製造時にどうしても木っ端（こっぱ）が出ますが、小さいため素材として活用されずチップとして燃やされてしまうことが多い。そこでそれらを有効活用できないかと考えました。

旭川家具メーカー cosineさんの木っ端を分けて頂き使いました。

**作成コンセプト②**  
 知育玩具を作ろう！  
 第7弾スロープトイは1〜3歳児向けの木球を『つかんで入れる』シンプルなものでした。そこで今年度は小学生を対象とした「こっぱ」を使い『考えながら遊ぶ』知育玩具の作成を目指すことにしました。

**作成コンセプト③**  
 何度でも作り替えられる  
 以前小学生にこっぱを使ったコロコロおもちゃ作りワークショップを行ったが接着剤を使ったため一度作ると形は変えられませんでした。そこで、磁石をこっぱに埋め込むことで、何度でも作り替えられるものになりました。

小学生が作ったコロコロおもちゃ

**サステイナブルな特徴①使用木材**  
 使わなくなった昔の製図板を活用し磁石を貼る板に再利用。汚れと日焼けで真っ黒だったがランダムサンダーで全面を削ると、きれいに蘇った。また角で怪我をすることないようにしっかり落とした。



**第9弾 スロープトイ**  
**こっぱっばスロープトイ**



**サステイナブルな特徴②**  
**材料固定**  
 磁石をつける白い金属板を製図板サイズに合わせ切断し接着剤で固定。また金属板の切り口で怪我しないよう回りを桧木で囲み触れる事が無いようにしました。



**サステイナブルな特徴③**  
**製図板の設置台**  
 いつでも、どこでも、誰でも簡単に設置できる台を目指しキノコ植菌用の原木台を参考にした、折りたたみ式台を作成。さらに、倒れず磁石も貼りやすい78°の角度に開くように台を固定した。



**サステイナブルな特徴④**  
**様々な形のこっぱ達**  
 コサインさんのこっぱに加え、自分達がスロープトイを作る上で失敗した鍵盤等も活用。一つずつボール盤で穴を空けネオジム磁石を入れ接着剤で固定。完成したこっぱ磁石は以前旭川家具職人の小助川泰介さんと作成した木製道具箱に入れる事で、片付け・持ち運びもしやすくしました。

**子ども達が自由な発想で作り上げた世界にたった一つのスロープトイ!!**

